

# 宮崎市新庁舎建設基本構想 検討資料

## 基本理念及び基本方針について

(※R4.11.1時点のものであり、今後ご意見をいただきながら決定していきます。)

# 将来・未来のあるべき姿の考察

- 将来・未来のあるべき姿の考察にあたっては、外部環境の整理に活用されるPEST分析が有用であるため、国の政策動向の整理等を基に、キーワードを抽出し、PEST分析により政治・経済・社会・技術ごとに整理した。その結果を基に、将来・未来のあるべき姿を考察した。

## Politics 政治

- 経済発展と社会的課題の解決の両立
- Society 5.0 / 超スマート社会 / DX
- デジタル・ガバメント / 行政サービスのデジタル化
- カーボンニュートラル
- 循環共生型の社会 / 地域循環共生圏の創造

## Economy 経済

- 新しい資本主義 / 成長と分配の好循環
- 低成長 / 低金利
- シェアリングエコノミー
- 地方への新たな人の流れ 分散型国づくり
- ESG投資 / グリーンボンドの普及・拡大
- グリーン成長戦略による民間投資
- カーボンプライシング

## Society 社会

- 超高齢社会と人口減少
- 多様な幸せが実現できる社会
- 包摂的な社会、一人ひとりの可能性の発揮 / 女性の参画
- 経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会
- 生産性の向上 / 働き方改革 / テレワークの一般化
- 年功序列の廃止 / 個の時代 / JOB型雇用 / 副業解禁
- バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進
- 脱炭素社会

## Technology 技術

- IoT・ビックデータ
- AI・ロボティクス・RPA
- 情報システムの標準化・共通化
- 自動運転
- AR・VR / メタバース
- ZEB

### ①誰でも親しめるようになっているデジタル技術を使いこなし、生産性が向上している

- デジタルに触れる障壁が下がり、誰でもデジタルに親しめるようになると考えられる。
- デジタルを使いこなし、生産性を向上させることが重要となると考えられる。

### ②人口減少対策や環境問題への対応など、持続可能な社会の実現に向けた取組が加速している

- 人口・特に生産年齢人口の減少が進む中でも、社会機能を維持していくことが求められる。
- 環境問題が深刻化する中で、カーボンニュートラルを実現し、持続可能な社会を形成していくことが求められる。

### ③多様な価値観を認め合い、誰もが生きがいを感じ、力を発揮できる環境になっている

- 誰ひとり取り残されることなく生きがいを感じることでできる包摂的な社会となっていくと考えられる。
- お互いを認め合う世の中であるからこそ、一人ひとりの力が発揮される社会となっていると考えられる。

- 宮崎市の現状、将来・未来の動向を考察し、市民懇話会の意見も踏まえ、基本理念・方針（案）を導き出す。

### 【 宮崎市の現状とこれまでの検討 】

#### 現庁舎の課題

- ・防災上の拠点施設としての耐震性
- ・洪水による庁舎の浸水の可能性
- ・庁舎の分散化、狭隘化 ・ユニバーサルデザインへの配慮
- ・環境への配慮 ・駐車場 ・デジタル化

#### まちづくり

- ・地域に愛着をもち、新たな価値を共に創る
- ・都市文化の創造と発信の拠点
- ・コンパクトシティ/持続可能な公共交通ネットワークの構築
- ・南海トラフ地震等大規模自然災害への備え
- ・都市内分権の推進

#### 財政

- ・市債の抑制/財政負担平準化 ・民間の力・資金の活用

市民懇話会の  
意見も踏まえて

### 【 将来・未来のあるべき社会の姿 】

社会情勢の変化

誰でも親しめるようになっている  
デジタル技術を使いこなし、生産  
性が向上している

人口減少対策や環境問題への  
対応など、持続可能な社会の実  
現へ向けた取組が加速している

多様な価値観を認め合い、誰もが  
生きがいを感じ、力を発揮できる  
環境になっている

### 【 他自治体における新庁舎建設にあたっての取組事例 】

#### 行政サービス提供方法

- ・手続きのオンライン化
- ・相談のオンライン化
- ・オンライン予約
- ・ワンストップサービス
- ・書かない窓口
- ・ユニバーサルな窓口対応

#### 職員の働き方

- ・従来慣行にとられない  
執務環境
- ・フリーアドレス
- ・ユニファイドコミュニケーション
- ・テレワーク

#### 庁舎整備/利活用

- ・交流の場の創出  
(情報発信、官民交流、市民協働)
- ・入退室管理システムによるセキュリティ  
確保
- ・CASBEE/Nearly ZEBによる環境  
配慮
- ・受水槽・汚水貯留槽・蓄電池等の防  
災対策
- ・収益施設との複合化

基本理念・基本方針

# 基本方針の修正案 「3つの基本方針」と「7つの重点項目」

## 1 誰もが分かりやすく、利用しやすい庁舎

### デジタルの活用により、 どこからでも用事を済ませることができる庁舎

- ✓ デジタル技術等を活用することにより、庁舎を訪れなくても気軽にサービスを受けられるDX化の進んだ庁舎
- ✓ 市民、事業者のほか、観光客等に対しても、分かりやすく情報を発信する庁舎

### 機能性と生産性の向上により、 市民が快適にサービスを受けられる庁舎

- ✓ デジタル技術等の活用や働き方改革による職員の生産性の向上と、チャレンジ精神と誇りの醸成により、市の利益の実現につながる庁舎
- ✓ 庁舎を訪れる市民も快適にサービスを受けられるよう、窓口の適正配置やワンストップでのサービスが提供できる庁舎

### 新しい価値を生み出すことのできる庁舎

- ✓ 市民、民間企業、団体、大学等との接点の場となり、協働により新しい価値を生み出すことのできる庁舎

## 2 市民の安全・安心を守る庁舎

### 災害対応拠点としての機能を備えた庁舎

- ✓ 南海トラフ巨大地震や大規模な大雨等による災害発生時にも、市民の安全・安心な暮らしをサポートし続けられる機能が備わった庁舎
- ✓ 感染症等の発生時にもサービスを提供できる機能を備えた庁舎

### 多様な利用者への配慮がある庁舎

- ✓ 子育て世代や妊婦、高齢者、障がい者、外国人など、多様性に配慮され、誰もが快適に利用できるユニバーサルデザイン庁舎

## 3 環境や財政に配慮した庁舎

### カーボンニュートラルに貢献する、環境に優しい庁舎

- ✓ 自然豊かな宮崎市の拠点施設として、環境負荷の低減等を通じ、カーボンニュートラルに貢献する、環境に優しい庁舎

### 適正なコストで整備され、将来世代の負担の軽減を実現できる庁舎

- ✓ 適切な規模、かつ適正なコストで整備され、長期的に維持管理できる庁舎
- ✓ 多様な変化にも柔軟に対応できるよう整備され、将来世代の負担を軽減できる庁舎